

## 令和5年度 徳島県看護職員認知症対応力向上研修 募集要項

1. 目的 認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達をすることで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を目的とする。
2. 実施主体 徳島県  
公益社団法人 徳島県看護協会
3. 対象者 (1) 県内で勤務する看護師  
(2) 医療機関や介護老人福祉施設等の主任以上の管理者の方で、教育担当などの指導的役割の看護師であり、自施設の職員に対して研修が行える方  
※主任以上の管理職以外の方は受講できません。  
(3) 研修全課程を受講することができる方
4. 定員 50名
5. 研修日程 令和5年6月22日(木) 9:30~17:00(開講式含む)  
23日(金) 9:30~17:00  
7月11日(火) 9:30~15:45(修了式含む)  
令和6年2月15日(木) 9:00~13:00  
(合計4日間)  
  
研修内容は別添プログラム参照ください。  
但し、講師交渉・日程調整のため、変更することがあります。
6. 受講場所 公益社団法人徳島県看護協会 看護会館 研修室
7. 受講料 無料(ただし資料代 1,000円)
8. 募集期間 令和5年6月8日(木) 締め切り
9. 修了証 (1) 研修の全課程を受講した看護師については、徳島県知事名の「修了証」を交付する。ただし、遅刻・早退などがある場合は、修了証を発行しない。  
自然災害等のやむを得ない理由がある場合はこの限りではない。  
(2) 徳島県は、研修修了者について、修了証書番号、修了年月日、氏名、生年月日等必要事項を記入した名簿を作成し、管理するものとする。  
(3) 徳島県は、研修修了者の情報について、研修修了者の同意を得た上で、研修修了者のリスト等を作成・更新し、各市町村や各市町村が設置する地域包括支援センターに配布するなど、地域の認知症医療体制の推進及び管内の認知症の人及びその家族等の受診の利便性に資するものとする。

10. 申し込み方法 徳島県看護協会のホームページから、受講希望の方が各自でお申し込みください。ただし、定員を超えた場合は、お断りさせていただくことがあります。

11. 選考結果 担当者よりお申込みいただいたメールアドレスに連絡します。  
電話による問い合わせには、応じることはできません。  
なお、受講決定時に、研修に必要な事前課題及び提出書類をお知らせします。

12. 資料代振込 資料代は、受講決定後1週間以内に振り込んで下さい。  
入金後の返金は特別な事情がない限りできません。

13. その他 (1) 本研修は、認知症ケア加算2の適応です。  
(2) 1施設で応募者が多数にわたる場合には、人数制限をさせていただく場合があります。ご了承ください。

14. 質問等の連絡先

〒770-0003 徳島市北田宮1丁目329-18  
公益社団法人徳島県看護協会  
徳島県看護職員認知症対応力向上研修担当  
Tel : 088-631-5544

## 標準的なカリキュラム

		研修内容
I 認知症に関する知識講義  (180分)	ねらい	認知症の人の入院から退院までのプロセスに沿って、認知症の原因疾患の病態・特徴等の基本知識を習得する
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 病院における認知症の人の現状や課題を理解し、修了後の役割を理解する</li> <li>2 実践対応力の前提となる認知症の原因疾患の主な症状や特徴を理解する</li> <li>3 認知症の人を支える施策・制度及び社会資源等を理解する</li> </ol>
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の目的・意義</li> <li>・一般病院等での認知症の現状と課題</li> <li>・病院及び看護師の役割</li> <li>・認知症の原因疾患の特徴・病態</li> <li>・認知機能障害とBPSD</li> <li>・認知症と鑑別すべき他の疾患</li> <li>・せん妄の特徴や症状</li> <li>・認知症の薬物療法と非薬物的対応</li> <li>・若年性認知症の特徴</li> <li>・認知症の重度化予防</li> <li>・認知症を取り巻く施策（認知症施策推進大綱等）</li> </ul>
II 認知症看護の実践対応力  講義 (330分) 演習 (120分)	ねらい	認知症の人を理解し、より実践的な対応力（アセスメント、看護技術、院内外の連携等）を習得する
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 認知症及び認知症の人とその対応の原則について理解する</li> <li>2 認知症の症状・特徴を踏まえた基本的な対応（アセスメント、看護技術、環境調整等）を行うことができる</li> <li>3 病棟等における実践的な対応（チーム対応、院内外の連携、介護者支援等）を行うことができる</li> </ol>
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人の行動等の理解</li> <li>・認知症の人に対する看護の基本原則（パーソン・センタード・ケア）</li> <li>・認知症の人とのコミュニケーションの基本</li> <li>・アセスメントのポイント</li> <li>・認知機能障害への対応</li> <li>・BPSDの要因・症状と対応</li> <li>・身体管理・症状経過を踏まえた対応</li> <li>・せん妄への対応</li> <li>・退院支援</li> <li>・病棟等におけるチームケアの意義</li> <li>・多職種連携</li> <li>・倫理的課題と意思決定支援・権利擁護</li> <li>・身体拘束の原則等</li> <li>・家族（介護者）の支援</li> <li>・社会資源と地域連携</li> <li>・（演習）BPSD・せん妄への対応の事例検討（要因の検討とケアについて）</li> <li>・（演習）身体拘束への対応の事例検討（チーム・連携による対応）</li> </ul>

Ⅲ 体制構築・ 人材育成  講義 (90 分)  演習 (300 分)	ねらい	病棟等における認知症ケア体制（院内・地域）の構築及びスタッフ育成・教育等の知識と技法を習得する
	到達目標	1 病院・病棟の課題を把握し、体制等の実情に応じて、病院・病棟や地域単位で認知症ケアに取り組む体制の構築を考えることができる 2 自施設において看護職員向けの研修を企画・実施し、継続学習を含むスタッフ育成計画を立てることができる
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院・病棟全体で取り組む重要性</li> <li>・体制構築に向けた取り組み</li> <li>・スタッフ育成の目標設定</li> <li>・研修の企画立案・研修実施のポイント</li> <li>・研修の効果測定と受講後のフォローアップ</li> <li>・（演習）自施設の課題整理と改善に向けた方策（課題整理から行動計画立案(認知症ケアの体制整備)まで)</li> <li>・（演習）研修の企画立案と研修評価・フォローアップの検討（研修実施に加え、研修後の評価や受講者フォローアップまで)</li> </ul>